

令和4年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編
【 利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～ 】

(公財) 東京都福祉保健財団 19階 多目的室1

《担当講師》

日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 教授：下垣 光 氏
 社会福祉法人正吉福祉会 きたざわ苑 施設長：齊藤 貴也氏
 一般社団法人Riccolab. 代表理事：渡辺 真紀 氏

《時間割》

時 間	科 目	講 師 等
10:00	5 分	事前連絡
10:05	5 分	事務局
10:10	50 分	○開講挨拶 公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部長 渡部 裕代
～		○講義1 利用者調査の意義 公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部 評価支援室 手法担当
11:00	10 分	休 憩
11:10	60 分	○講義2 高齢者福祉制度の変遷と現状 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 教授 下垣 光 氏
12:10	60 分	休 憩
13:10	60 分	○講義3 聞き取り方式の対象となる利用者を理解する 社会福祉法人正吉福祉会 きたざわ苑 施設長 齊藤 貴也 氏
～		
14:10	10 分	休 憩
14:20	15 分	○オリエンテーション 一般社団法人Riccolab. 代表理事 渡辺 真紀 氏
14:35	80 分	○演習1 利用者調査の技法を学ぶ 社会福祉法人正吉福祉会 きたざわ苑 施設長 齊藤 貴也 氏
～		
15:55	50 分	○演習2 利用者調査回答の振り分けを学ぶ
16:45	10 分	○質疑応答
16:55	5 分	○事務連絡 (事務局)
17:00		終了

※ 1日目の演習1・2では、
 特別養護老人ホームにおける聞き取り方式の利用者調査の
 技法を学びます。
 高齢の利用者の聞き取り場面として2通りのビデオを視聴
 し、ワークを通して、評価者として望ましい利用者調査の
 在り方や回答の振り分けについて学びます。
 施設利用者の思いを深く理解している施設長と、経験豊か
 な評価者である講師2名から、回答の振り分けについて解
 説があります。

令和4年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編
【 利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団 19階 多目的室1

《担当講師》

特定非営利活動法人ミニケアホームきみさんち 理事長：林田 俊弘 氏

一般社団法人Riccolab. 代表理事：渡辺 真紀 氏

《時間割》

時 間	科 目	講 師 等
10:00	5 分	事務連絡
10:05	30 分	○講義4 場面観察方式の調査手法
10:35	10 分	休 憩
10:45	60 分	○講義5 利用者特性に配慮した意向発信(サイン)の見出し方
11:45	40 分	○演習3 線引きワーク
12:25	60 分	休 憩
13:25	45 分	○演習4 個人調査シート作成ワーク
14:10	10 分	休 憩
14:20	75 分	○演習5 合議結果作成ワーク
15:35	15 分	休 憩
15:50	40 分	○発表・講評
16:30	10 分	○質疑応答
16:40	5 分	○事務連絡
16:45		終了

※ 2日目の演習3・4・5では、
認知症対応型グループホームにおける場面観察方式の調査方式を学びます。
 ビデオ視聴により、グループホームの日常生活の中で発せられた利用者のサイン(呼びかけ、声なき呼びかけ、まなざし等)に対する職員の関わりを観察し、グループワークを通じて場面観察方式の記載方法を学びます。
 利用者のサインはどこにあったのか、グループホーム利用者の特性に詳しい施設長が解説し、講評やグループワークで作成した「評価機関が選定した場面」と「評価機関が読み取った利用者の気持ちの変化」の記載について評価者が解説します。